

「冬の野鳥観察会」

～オジロワシ・オオワシを観察しよう～のお知らせ

郷土資料館ではこのたび、冬期間に飛来する代表的な渡鳥、オジロワシ・オオワシの観察会を開催いたします。別海町の自然にふれ、人間との関わりを学びたいと思います。ぜひ、ご参加ください。

- 日 時
平成18年2月19日(日) 午前9時～正午頃まで
- 場 所
風蓮湖・走古丹(※集合は郷土資料館)
- 内 容
「オジロワシ・オオワシを観察しよう」
講師 別海町郷土研究会 渡辺 昇 氏
- 日 程
8:45～9:00 集合・受付
9:00～9:40 バスで移動 車中
(開会式と説明)
9:40～11:30 観察(風蓮湖・走古丹)
11:30～12:00 移動 車中(閉会式)
- 対象者及び募集人員
30名
- 申込み受付期間
平成18年2月17日(金)まで。
ただし、定員になり次第締め切ります。
- その他
双眼鏡をお持ちの方は持参ください。
- 申込み・問い合わせ
郷土資料館まで。裏面連絡先を参照ください。



観察ポイントの紹介など

★風蓮湖

風蓮湖の氷下漁では、地元漁師のみなさんがチカ・ワカサギ・ニンなどを漁獲しています。周辺の森の木々にはオジロワシやオオワシをはじめカラス、トビなどが群れをなしてとまっています。

漁がはじまり網が引き上げられると雑魚などはそのまま氷の上に捨てられるため、それらを狙い一斉に鳥たちは飛び立ち、獲物の争奪戦を繰り広げます。年間で多いときは500羽のワシ類が越冬すると聞きます。以前の観察会では何百羽のワシが空中で旋回しワシ柱を作ったこともありました。

★走古丹

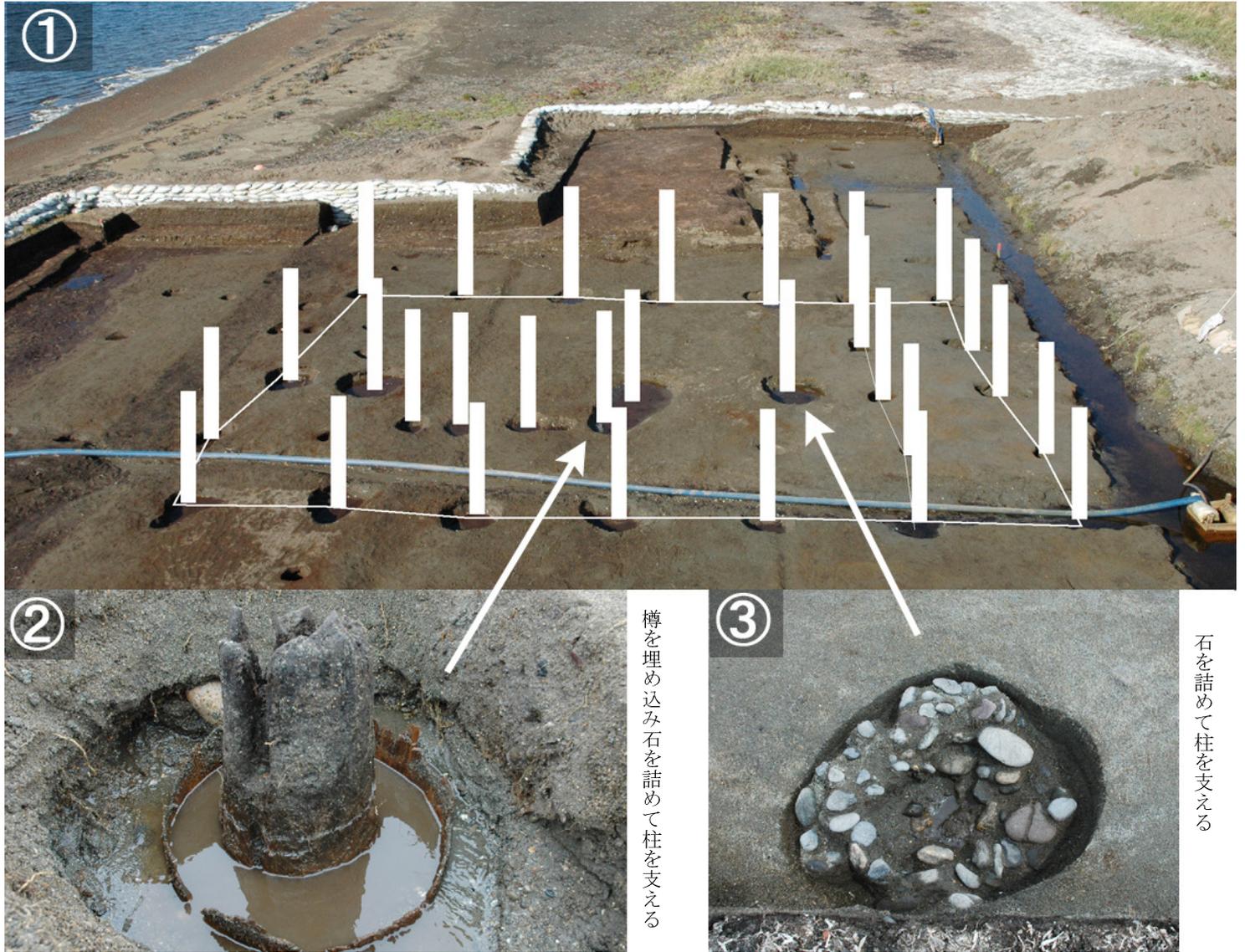
本別海から走古丹までの道は、鹿が多いことで知られています。何百というシカの群れを観察することができると思います。

また、走古丹の港からは、氷の上で昼寝をするゴマフアザラシ達を観察することができるかもしれません。



(昨年の観察会の様子)

野付通行屋跡遺跡発掘調査から その10 ～西側調査区の建物跡～



樽を埋め込み石を詰めて柱を支える

石を詰めて柱を支える

今年度の調査では、建物跡が2棟発見されました。写真①は、西側調査区で発見されたもので、検出された主な柱穴に白い棒を立ててみました。間隔は1間(1.8m)で4間×6間の大きさです。建物の中央(写真では左右のライン)に比較的大きな柱穴が検出され、樽を埋め込みその中央に柱を立て握こぶし大の石を詰めて柱を固定させていたようです。

樽が埋め込まれ検出されたのは、1ヶ所のみでしたが、写真③のようにたくさんの石が詰められている柱穴もあり、地盤が砂地のためこうした工夫がされていたと考えられます。

(文責 石渡一人)

郷土資料館・加賀家文書館のお知らせ
2月(■は休館日)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料 一般個人 300円 一般団体(10名以上) 240円
高校生以下は無料となります。

別海町郷土資料館だより No.79
発行日 平成18年2月1日
発行所 別海町郷土資料館
別海町別海宮舞町30番地
電話 0153-75-0802 (FAX 兼)
e-mail kyoudo@betsukai.gr.jp

編集後記 建物跡の全景写真は、高さ4m位の足場を組んで撮影したものです。風が吹くとフラフラ揺れ、思い出ただけでもぞっとします。誌面上は、いつも白黒で見づらいかと思いますが、ホームページではフルカラーとなっていますので、そちらもごらんください。高所恐怖症の私にとっては、会心の1枚です。(石渡)